

# 健康 コラム

## 仕事を辞める前に 考えて…!!!



いしやま みつみ  
石山 逸美

秋田厚生医療センター  
医療福祉相談室 MSW

### まず医療福祉相談室のご紹介

医療福祉相談室では、病気やケガがもとで起こった療養に伴う経済的、社会的、心理的な心配事、不安等の問題について相談を受け、問題解決のお手伝いをしています。当院では社会福祉士の国家資格を有する5名の医療ソーシャルワーカー(Medical Social Worker:MSW)が患者さん・ご家族の様々な相談に対応しています。

### 就労支援窓口の発足

厚生労働省では「事業所における治療と仕事の両立のためのガイドライン」を策定し、治療と仕事の両立に取り組んでいます。

当院では令和元年10月1日ハローワーク秋田と「長期療養者就職支援事業実施協定」を締結しました。院内にハローワーク秋田の就職支援ナビゲーターを派遣出来るようになり、病院内で就労相談が可能になりました。

就労支援ナビゲーターは、個々の患者さんの希望や治療状況を踏まえた職業相談、職業紹介(仕事の紹介)、求人開拓(希望・適合する仕事の選定や開拓)、就職後の職

場定着支援をしています。また、履歴書・職務経歴書の書き方指導や模擬面接なども実施しています。

まずはMSWが患者さんの就労に関する要望をお聞きし、就労支援ナビゲーターとの面談を調整します。治療しながら仕事をしたい方、辞めようか悩んでいる方、再就職希望の方等は非ご相談ください。特に、退職してからは受給できない制度もありますので辞める前にお声掛けください。

〈対象患者：がん、肝臓疾患、腎疾患、心臓疾患等長期に治療が必要な方〉

### がんを例に

生涯で診断される割合は2人に1人。男女とも50歳代から80歳代くらいまでで罹患者が増え、稼働年齢でがんと診断され治療を開始することもあります。

実際にがんと診断され定期的に点滴で化学療法をしている患者さんの就労支援の実績があります。治療のスケジュール、化学療法後は何日で仕事ができるまでに体調が回復するのか、仕事内容は肉体的労働かデスクワークが適しているのかを、患者さんと就労支援ナビ

ゲーターとで相談をしました。

MSWは、医師に就労における意見を求め、就労支援ナビゲーターの来院日程調整、限られた時間でスムーズに相談が進行するように患者さんと就労支援ナビゲーターとの面談に同席しました。ハローワークは敷居が高く一人で出向くのは緊張しがちですが、通い慣れた病院内で安心して相談ができるのが派遣相談の強みです。

### 医療福祉相談室をご活用ください

健康であれば病院に足を運ぶことはありません。しかし、病気やケガは誰にでも起こり得ることです。就労支援窓口としてのみならず、療養する上で不安を感じたら医療福祉相談室へお越しくください。その不安が解決できるようにお手伝いいたします。

